

< 国語科 > 3年

現在の分析

<知識・技能>

- ・毎週の漢字小テストや1学期に2回行ったまとめテストの結果から、下位10%程度の児童については、前年度までの既習漢字も含め、漢字を十分に習得していないと考えられる。年2回の漢字検定をよい機会とし、漢字の定着を図っていく。
- ・毎日の家庭学習の課題として音読に取り組んだり、図書館を活用して読書活動の充実を図ったりし、読み・書きにつながる学習を日常的に行っている。また、国語辞典に触れる機会を多くし、語彙や読解力の向上を図る。

<思考力・判断力・表現力等>

- ・自分の思いや考えを工夫して表現することができる児童が多い。しかし、自分の考えをもつことに対して、個別の支援を要する児童も少なくない。
- ・根拠となる文や、問いに正対した文を見つけることが難しい児童が一部いる。
- ・説明文・報告文・俳句・詩などを書く活動では、それぞれの形式や特徴に留意して、ねらいに即して活動する姿が見られた。資料をもとに書き写す作業は得意であるが、情報を取捨選択したり、事実と感想を分けて書いたりすることには習熟を要する。
- ・朝の会の日直によるスピーチを通して、自分の思いや考えを整理して端的に表現できている。

<学びに向かう力・人間性等>

- ・国語の学習に意欲的な児童が多いが、国語に苦手意識をもってあまり意欲的でない児童がいる。
- ・意欲的に読書に取り組んでいるが、選ぶ図書の幅が広がらない児童もいる。

重点課題

<知識及び理解>

- ・第1回の区漢字検定合格率を学年の80%以上として、漢字の定着を目指す。

<思考力・判断力・表現力等>

- ・共通点や差異点を考えながら、根拠に基づいて自分の考えをもつようにする。
- ・事実と感想を分けて文を読んだり、書いたりする。
- ・構成メモをもとに、原稿用紙を正しく使って文章を書く。文章を読み直し、推敲する。

<学びに向かう力・人間性等>

- ・目的に応じて幅広く読書する態度を育てる。
- ・既習の漢字を積極的に使おうとしたり、知らない言葉を進んで調べようとする態度を育てる。

授業改善策

<知識及び理解>

- ・授業での新出漢字の学習を丁寧に行うとともに、単元ごとの小テストや期末のまとめテストなどを有効に活用し、前年度までの漢字を含め、配当漢字の定着を目指す。
- ・音読・漢字練習・言葉調べや言葉集めについて、授業時間内だけでなく、家庭学習でも取り組むようにする。

<思考力・判断力・表現力等>

- ・社会科や総合的な学習の時間などの他教科とも関連させながら情報を集め、構成メモをもとに、原稿用紙を正しく使って文章を書いたり、文章を推敲したりする言語活動を行う。

<学びに向かう力・人間性等>

- ・読み物教材や科学読み物を学習に関連して図書を紹介したり、学校図書館を有効活用したりして、質量両面で読書活動の充実を目指す。